★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約５年間（2015年５月７日～2020年５月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの受益証券
	メキシコ株マザーファンド	イ．メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ．メキシコの企業のＤＲ（預託証券） ハ．メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ＥＴＦ）
マザーファンドの運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のＤＲ（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたＥＴＦをいいます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ．時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ．投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ．株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

メキシコ株ファンド

運用報告書（全体版）
第３期
（決算日　2016年11月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「メキシコ株ファンド」は、このたび、第３期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL　０１２０－１０６２１２

（営業日の９：00～17：00）

http://www.daiwa-am.co.jp/

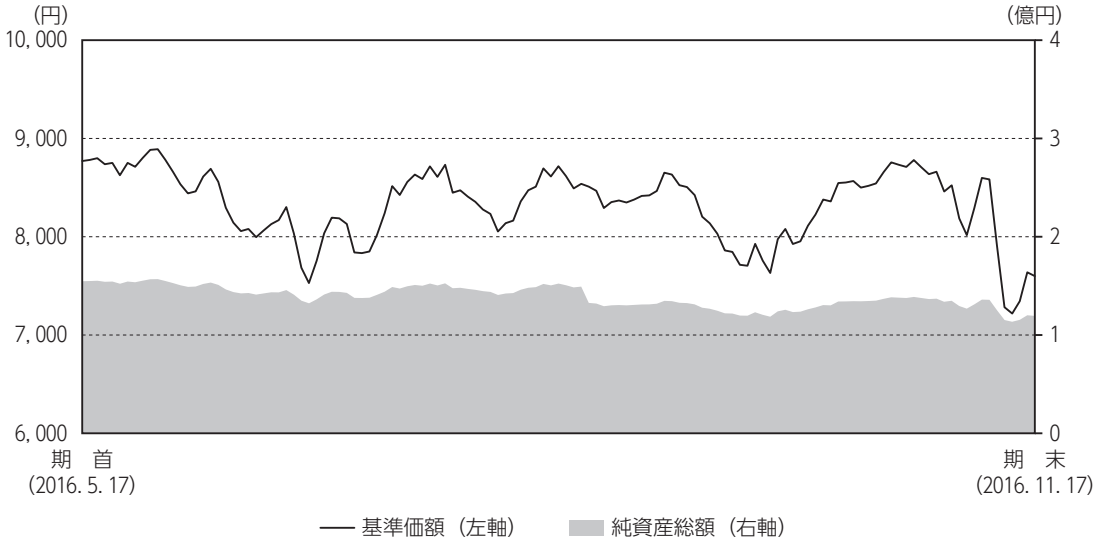
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			メキシコ ボルサ指数(円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1期末(2015年11月17日)	9,781	0	△ 2.2	9,199	△ 8.0	96.9	—	—	165
2期末(2016年5月17日)	8,771	0	△ 10.3	7,814	△ 15.1	97.3	—	—	154
3期末(2016年11月17日)	7,599	0	△ 13.4	6,932	△ 11.3	96.0	—	1.5	119

(注1) メキシコ ボルサ指数(円換算)は、メキシコ ボルサ指数(メキシコ・ペソベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期　首：8,771円
期　末：7,599円
騰落率：△13.4%

■基準価額の主な変動要因

雇用者数の増加や低インフレ率を背景にメキシコの消費は好調を維持しましたが、米国大統領選挙において共和党候補のドナルド・トランプ氏が勝利したため、同氏の保護貿易主義政策などへの懸念から、メキシコの株式市場や通貨に対して売り圧力が強まりました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで下落し、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したため、基準価額は下落しました。

メキシコ株ファンド

年　月　日	基準価額		メキシコ ボルサ指数(円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
	円	%		%	%	%	%
(期首)2016年5月17日	8,771	—	7,814	—	97.3	—	—
5月末	8,891	1.4	7,936	1.6	98.8	—	—
6月末	8,035	△ 8.4	7,267	△ 7.0	98.6	—	—
7月末	8,355	△ 4.7	7,418	△ 5.1	98.5	—	—
8月末	8,416	△ 4.0	7,493	△ 4.1	97.1	—	—
9月末	7,926	△ 9.6	7,058	△ 9.7	96.1	—	1.4
10月末	8,461	△ 3.5	7,604	△ 2.7	96.9	—	1.5
(期末)2016年11月17日	7,599	△ 13.4	6,932	△ 11.3	96.0	—	1.5

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○メキシコ株式市況

期首から2016年８月にかけてのメキシコ株式市況は、低インフレや雇用の拡大を背景にメキシコ国内の消費が好調に推移したため、堅調な展開となりました。英国のＥＵ（欧州連合）離脱の賛否を問う国民投票の結果を受けて国際金融市場が動揺し、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）による利上げが先送りされたことも、メキシコを含む新興国のリスク資産にとっては追い風となりました。その後は、米国大統領選挙の共和党候補トランプ氏が反自由貿易を唱え、ＮＡＦＴＡ（北米自由貿易協定）を通じて米国と密接な貿易関係にあるメキシコに対して強硬な姿勢を示していたため、米国大統領選挙の行方に注目が集まり、支持率動向に一喜一憂する神経質な展開が続きました。11月に行なわれた選挙でトランプ氏が勝利すると、トランプ氏の政策への懸念からメキシコ株は調整し、期末を迎えました。

○為替相場

主要な投資先であるメキシコ・ペソは期首５円台後半で始まりました。2016年６月にかけては、原油価格の上昇はペソに追い風となりましたが、円が米ドルに対して円高基調となったため、ペソは５円台半ばまで下落しました。８月にかけては方向感のない展開が続きましたが、９月以降は米国大統領選の行方に注目が集まり、トランプ氏の支持率が高まった９月後半には５円台前半まで下落しました。その後、同氏の支持率低迷を受けて５円台半ばまでペソは値を戻しましたが、11月の大統領選で同氏が予想外に勝利したことでペソは下落し、５円台前半で期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

○メキシコ株マザーファンド

短期的には、米国景気などを中心に外部環境は良好ですが、中国景気の持ち直しには持続性に疑問符がつくため注意が必要とみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率をおおむね95％程度以上としました。

○メキシコ株マザーファンド

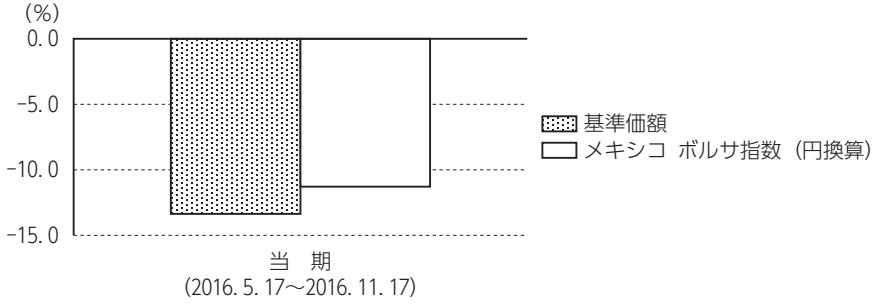
当期は、株式組入比率を95～99％程度とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、鶏肉市場で高いシェアを持つ食品会社 INDUSTRIAS BACHOCO（生活必需品）、旅客需要拡大の恩恵を受ける航空会社 CONTROLADORA VUELA CIA DE（資本財・サービス）、金融サービスへの強い需要の恩恵を受けるマイクロファイナンス会社 GENTERA（金融）などを買い付けました。一方で、株価上昇により相対的な魅力が低下したリース会社 UNIFIN FINANCIERA（金融）や空港運営会社 GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC（資本財・サービス）、業績見通しが悪化したメディア会社 GRUPO TELEVISA（一般消費財・サービス）などを売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、自動車部品会社を中心とした一般消費財セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調な GRUMA（生活必需品）や、セメント会社 CEMEX（素材）などを高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目			当期 2016年5月18日 ～2016年11月17日
当期分配金（税込み）		(円)	—
	対基準価額比率	(%)	—
	当期の収益	(円)	—
	当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額		(円)	27

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

○メキシコ株マザーファンド

短期的には、トランプ氏の保護貿易主義政策などへの懸念から、メキシコ株式市場は神経質な展開が続くとみられます。しかし、トランプ氏が選挙中の公約のすべてを額面通り実施することは非常に難しいと予想され、具体的で実現性のある政策案が明らかにされるにつれて過度に悲観的な見方が修正され、株式市場は回復基調に転じるものとみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2016.5.18～2016.11.17) 金額	比率	項目の概要
信託報酬	75円	0.898%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 **期中の平均基準価額は8,321円です。**
（投信会社）	(36)	(0.436)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0.436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	20	0.238	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(20)	(0.235)	
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	40	0.478	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(40)	(0.475)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	134	1.614	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注2）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2016年５月18日から2016年11月17日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ株マザーファンド	3,024	2,600	23,488	20,200

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2016年５月18日から2016年11月17日まで）

項目	当期
	メキシコ株マザーファンド
（a）期中の株式売買金額	137,771千円
（b）期中の平均組入株式時価総額	135,539千円
（c）売買高比率 （a）／（b）	1.01

（注１）（b）は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

（注１）金額は元本ベース。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
メキシコ株マザーファンド	173,175	152,711	119,053

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年11月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	119,053	98.6
コール・ローン等、その他	1,732	1.4
投資信託財産総額	120,786	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月17日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝108.74円、１メキシコ・ペソ=5.38円です。
（注３）メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（117,851千円）の投資信託財産総額（122,760千円）に対する比率は、96.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月17日現在

項目	当期末
（A）資産	**120,786,006円**
コール・ローン等	1,732,255
メキシコ株マザーファンド（評価額）	119,053,751
（B）負債	**1,363,210**
未払解約金	113,534
未払信託報酬	1,245,987
その他未払費用	3,689
（C）純資産総額（A－B）	**119,422,796**
元本	157,155,938
次期繰越損益金	△ 37,733,142
（D）受益権総口数	**157,155,938口**
１万口当り基準価額（C／D）	**7,599円**

＊期首における元本額は176,392,877円、当期中における追加設定元本額は3,907,532円、同解約元本額は23,144,471円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は7,599円です。
＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は37,733,142円です。

■損益の状況

当期　自2016年５月18日　至2016年11月17日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	△ **127円**
受取利息	4
支払利息	△ 131
(B)有価証券売買損益	△ **17,001,515**
売買益	686,487
売買損	△ 17,688,002
(C)信託報酬等	△ **1,249,676**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△ **18,251,318**
(E)前期繰越損益金	△ **18,352,811**
(F)追加信託差損益金	△ **1,129,013**
(配当等相当額)	(54,346)
(売買損益相当額)	(△ 1,183,359)
(G)合計（D＋E＋F）	△ **37,733,142**
次期繰越損益金（G）	△ **37,733,142**
追加信託差損益金	△ 1,129,013
(配当等相当額)	(54,346)
(売買損益相当額)	(△ 1,183,359)
分配準備積立金	374,123
繰越損益金	△ 36,978,252

(注１) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注２) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注３) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
(注４) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：389,242円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	54,346
(d) 分配準備積立金	374,123
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	428,469
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	428,469
(h) 受益権総口数	157,155,938口

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

メキシコ株マザーファンド

運用報告書　第３期　（決算日　2016年11月17日）

（計算期間　2016年５月18日～2016年11月17日）

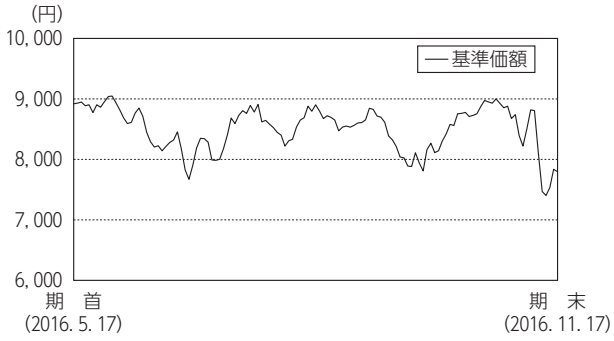
メキシコ株マザーファンドの第３期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ．メキシコの企業のＤＲ（預託証券） ハ．メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ＥＴＦ）
運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のＤＲ（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたＥＴＦをいいます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ．時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ．投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ．株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当期中の基準価額と市況の推移



年　月　日	基準価額		メキシコ ボルサ指数(円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
	円	%		%	%	%	%
(期首) 2016年 5 月17日	8,919	—	7,814	—	97.5	—	—
5 月末	9,047	1.4	7,936	1.6	98.9	—	—
6 月末	8,186	△ 8.2	7,267	△ 7.0	98.8	—	—
7 月末	8,525	△ 4.4	7,418	△ 5.1	98.7	—	—
8 月末	8,601	△ 3.6	7,493	△ 4.1	97.3	—	—
9 月末	8,112	△ 9.0	7,058	△ 9.7	96.4	—	1.4
10月末	8,675	△ 2.7	7,604	△ 2.7	97.1	—	1.5
(期末) 2016年11月17日	7,796	△12.6	6,932	△11.3	96.3	—	1.5

(注 1) 騰落率は期首比。
(注 2) メキシコ ボルサ指数（円換算）は、メキシコ ボルサ指数（メキシコ・ペソベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：8,919円　期末：7,796円　騰落率：△12.6%

【基準価額の主な変動要因】

雇用者数の増加や低インフレ率を背景にメキシコの消費は好調を維持しましたが、米国大統領選挙において共和党候補のドナルド・トランプ氏が勝利したため、同氏の保護貿易主義政策などへの懸念から、メキシコの株式市場や通貨に対して売り圧力が強まりました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで下落し、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したため、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○メキシコ株式市況

期首から2016年 8 月にかけてのメキシコ株式市況は、低インフレや雇用の拡大を背景にメキシコ国内の消費が好調に推移したため、堅調な展開となりました。英国のＥＵ（欧州連合）離脱の賛否を問う国民投票の結果を受けて国際金融市場が動揺し、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）による利上げが先送りされたことも、メキシコを含む新興国のリスク資産にとっては追い風となりました。その後は、米国大統領選挙の共和党候補トランプ氏が反自由貿易を唱え、ＮＡＦＴＡ（北米自由貿易協定）を通じて米国と密接な貿易関係にあるメキシコに対して強硬な姿勢を示していたため、米国大統領選挙の行方に注目が集まり、支持率動向に一喜一憂する神経質な展開が続きました。11月に行なわれた選挙でトランプ氏が勝利すると、トランプ氏の政策への懸念からメキシコ株は調整し、期末を迎えました。

○為替相場

主要な投資先であるメキシコ・ペソは期首 5 円台後半で始まりました。2016年 6 月にかけては、原油価格の上昇はペソに追い風となりましたが、円が米ドルに対して円高基調となったため、ペソは 5 円台半ばまで下落しました。 8 月にかけては方向感のない展開が続きましたが、 9 月以降は米国大統領選の行方に注目が集まり、トランプ氏の支持率が高まった 9 月後半には 5 円台前半まで下落しました。その後、同氏の支持率低迷を受けて 5 円台半ばまでペソは値を戻しましたが、11月の大統領選で同氏が予想外に勝利したことでペソは下落し、 5 円台前半で期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

短期的には、米国景気などを中心に外部環境は良好ですが、中国景気の持ち直しには持続性に疑問符がつくため注意が必要とみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を95～99%程度とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、鶏肉市場で高いシェアを持つ食品会社 INDUSTRIAS BACHOCO（生活必需品）、旅客需要拡大の恩恵を受ける航空会社 CONTROLADORA VUELA CIA DE（資本財・サービス）、金融サービスへの強い需要の恩恵を受けるマイクロファイナンス会社 GENTERA（金融）などを買い付けました。一方で、株価上昇により相対的な魅力が低下したリース会社 UNIFIN FINANCIERA（金融）や空港運営会社 GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC（資本

財・サービス）、業績見通しが悪化したメディア会社GRUPO TELEVISA（一般消費財・サービス）などを売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、自動車部品会社を中心とした一般消費財セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調なGRUMA（生活必需品）や、セメント会社CEMEX（素材）などを高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

短期的には、トランプ氏の保護貿易主義政策などへの懸念から、メキシコ株式市場は神経質な展開が続くとみられます。しかし、トランプ氏が選挙中の公約のすべてを額面通り実施することは非常に難しいと予想され、具体的で実現性のある政策案が明らかにされるにつれて過度に悲観的な見方が修正され、株式市場は回復基調に転じるものとみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	20円
（株式）	(20)
（投資信託証券）	(0)
有価証券取引税	—
その他費用	40
（保管費用）	(40)
合計	61

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

（注2）各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株式

（2016年5月18日から2016年11月17日まで）

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
		百株	千メキシコ・ペソ	百株	千メキシコ・ペソ
外国	メキシコ	2,734 (57.5)	10,783 (115)	2,799	14,232

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）（ ）内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

（2016年5月18日から2016年11月17日まで）

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千メキシコ・ペソ	千口	千メキシコ・ペソ
外国	メキシコ	11 (—)	347 (△ 5)	— (—)	— (—)

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）買付（ ）内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注3）売付（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

（注4）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
(1)株　　式

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B (メキシコ)	16.6	6,950	418	UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV (メキシコ)	25.9	7,758	299
GRUPO FIN SANTANDER-B (メキシコ)	36.5	6,568	179	GRUPO FIN SANTANDER-B (メキシコ)	36.5	6,855	187
CONTROLADORA VUELA CIA DE-A (メキシコ)	30	5,617	187	GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	5.7	6,050	1,061
ALPEK SA DE CV (メキシコ)	30	4,808	160	FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD (メキシコ)	5.2	4,995	960
GENTERA SAB DE CV (メキシコ)	22	3,917	178	GRUPO TELEVISA SAB-SER CPO (メキシコ)	7.5	4,006	534
PROMOTORA Y OPERAD DE INF-L (メキシコ)	3.7	3,896	1,053	GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	6	3,813	635
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV (メキシコ)	5.8	3,875	668	GRUPO LALA SAB DE CV (メキシコ)	15.5	3,517	226
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N (メキシコ)	8.7	3,869	444	PROMOTORA Y OPERAD DE INF-L (メキシコ)	3.7	3,474	939
MEXICHEM SAB DE CV-* (メキシコ)	13	2,949	226	MEGACABLE HOLDINGS-CPO (メキシコ)	8.5	3,360	395
ELEMENTIA SAB DE CV (メキシコ)	25	2,939	117	INDUSTRIAS BACHOCO-SER B (メキシコ)	7	3,144	449

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2016年5月18日から2016年11月17日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA (メキシコ)	11	1,790	162				

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)外国株式

銘柄	期首	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
(メキシコ)					
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	—	96	747	4,022	生活必需品
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	182	143	1,456	7,834	資本財・サービス
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA	70	25	292	1,575	金融
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV	321	62	320	1,725	金融
RASSINI SAB DE CV	160	160	1,231	6,627	一般消費財・サービス
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	111	66	409	2,203	一般消費財・サービス
NEMAK SAB DE CV	510	500	904	4,863	一般消費財・サービス
CONTROLADORA VUELA CIA DE-A	—	200	629	3,386	資本財・サービス
ELEMENTIA SAB DE CV	180	287.5	629	3,385	資本財・サービス
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B	57	—	—	—	資本財・サービス
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	164	—	—	—	電気通信サービス
TELESITES SAB DE CV	8.2	—	—	—	その他

メキシコ株マザーファンド

銘柄		期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
GRUPO TELEVISA SAB-SER CPO		119.05	44.05	404	2,178	一般消費財・サービス
TELESITES SAB DE CV		—	8.2	8	47	電気通信サービス
CEMEX SAB-CPO		1,178.32	1,028.32	1,592	8,569	素材
GRUMA S. A. B. -B		85	69	1,769	9,520	生活必需品
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD		118	66	1,057	5,690	生活必需品
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV		33	91	952	5,125	生活必需品
ALPEK SA DE CV		140	350	879	4,731	素材
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N		25	112	938	5,047	公益事業
GENTERA SAB DE CV		235	375	1,254	6,748	金融
HOTELES CITY EXPRESS SAB DE		—	250	425	2,290	一般消費財・サービス
GRUPO LALA SAB DE CV		155	—	—	—	生活必需品
MEXICHEM SAB DE CV-*		—	80	350	1,886	素材
ALSEA SAB DE CV		146	96	580	3,123	一般消費財・サービス
KIMBERLY-CLARK DE MEXICO-A		115	—	—	—	生活必需品
GRUPO BIMBO SAB- SERIES A		—	80	397	2,137	生活必需品
ALFA S. A. B. -A		456	456	1,095	5,892	資本財・サービス
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B		64	—	—	—	素材
WALMART DE MEXICO SAB DE CV		359	374	1,397	7,519	生活必需品
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		200	165	1,581	8,506	金融
ファンド合計	株数、金額	5,191.57	5,184.07	21,308	114,640	
	銘柄数＜比率＞	25銘柄	25銘柄		＜96.3%＞	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）＜　＞内は純資産総額に対する評価額の比率。
（注3）評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国投資信託証券

銘柄		期首	当期末		
		口数	口数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
		千口	千口	千メキシコ・ペソ	千円
（メキシコ）					
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA		—	11	325	1,751
合計	口数、金額	—	11	325	1,751
	銘柄数＜比率＞	—	1銘柄		＜1.5%＞

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）＜　＞内は純資産総額に対する評価額の比率。
（注3）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年11月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	114,640	93.4
投資信託証券	1,751	1.4
コール・ローン等、その他	6,369	5.2
投資信託財産総額	122,760	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。
（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.74円、1メキシコ・ペソ＝5.38円です。
（注3）当期末における外貨建純資産（117,851千円）の投資信託財産総額（122,760千円）に対する比率は、96.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月17日現在

項目	当期末
(A)資産	**122,760,864円**
コール・ローン等	4,354,935
株式（評価額）	114,640,292
投資信託証券（評価額）	1,751,136
未収入金	1,901,017
未収配当金	113,484
(B)負債	**3,707,118**
未払金	3,707,118
(C)純資産総額（A－B）	**119,053,746**
元本	152,711,328
次期繰越損益金	△ 33,657,582
(D)受益権総口数	**152,711,328口**
1万口当り基準価額（C／D）	**7,796円**

＊期首における元本額は173,175,504円、当期中における追加設定元本額は3,024,059円、同解約元本額は23,488,235円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド152,711,328円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は7,796円です。
＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は33,657,582円です。

■損益の状況

当期　自2016年5月18日　至2016年11月17日

項目	当期
(A)配当等収益	**710,047円**
受取配当金	710,012
受取利息	296
支払利息	△ 261
(B)有価証券売買損益	**△ 17,847,085**
売買益	6,721,034
売買損	△ 24,568,119
(C)その他費用	**△ 656,590**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**△ 17,793,628**
(E)前期繰越損益金	**△ 18,728,130**
(F)解約差損益金	**3,288,235**
(G)追加信託差損益金	**△ 424,059**
(H)合計（D＋E＋F＋G）	**△ 33,657,582**
次期繰越損益金（H）	**△ 33,657,582**

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。